

103-188

問題文

全身性エリテマトーデス(SLE)に関する記述のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。

1. 自己抗体により形成される免疫複合体が組織に沈着し、臓器に慢性の炎症を引き起こす。
2. 特徴的な症状として両側頬部にわたる蝶形紅斑が認められる。
3. 関節所見としては関節痛や関節炎が主体で、骨破壊はまれである。
4. 40～50歳代の女性に好発する。
5. 肝機能の悪化はSLEの予後を左右する最も重要な因子である。

解答

4, 5

解説

選択肢 1～3 は、正しい記述です。

SLE は 免疫複合体の関与する全身性の慢性的炎症による 様々な症状が引き起こされる疾患です。Sがsystematicで「全身性」を意味します。L,Eがlupus erythematosus で「紅斑性狼瘡」です。lupus がドイツ語で狼だそうです。

20～40歳女性に特に多く、患者ほぼ全員が抗核抗体を持っているという特徴があります。治療はステロイド、免疫抑制剤を用います。予後規定因子として重要なのはSLEと併発しやすい腎障害です。従って、選択肢4,5は誤りです。

以上より、正解は4,5です。